

CSR 目標と実績

2019年度

| マテリアリティ | 重点テーマ | 年度目標 | 実績 |
|---------|------------------|--|--|
| 製品競争力 | 技術革新への挑戦 | <ul style="list-style-type: none"> 全機種における次世代向け新製品数の割合 (3カ年累計) 20%以上 グローバル特許出願率 前年水準を維持 | <ul style="list-style-type: none"> 21.0%を達成 前年水準維持を達成 (2018年度81.2%、2019年度79.8%) |
| | 製品の環境貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ウェーハ当たりのCO₂排出量20%削減 (2024年度まで、2013年度比) | <ul style="list-style-type: none"> 2019年度は2013年度比16%削減 (各主要プロダクトの目標達成に向けたロードマップと対象機種を選定実施) |
| 顧客対応力 | 顧客価値創造 | <ul style="list-style-type: none"> お客さまにおけるTELの価値向上 FS事業の売上高、前年度比増加 | <ul style="list-style-type: none"> ロジック/ファウンドリビジネスの伸長、年度後半でのNAND投資再開を背景に、主要顧客におけるTEL装置の採用率を拡大 前年度比6.3%増加 |
| | 顧客満足度の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度調査 3点以上 (満足) の項目の割合 100% | <ul style="list-style-type: none"> 93.3% (前年度比+8.9ポイント) |
| 生産性向上 | 品質マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> グループ内ナレッジ、強みの活用 | <ul style="list-style-type: none"> 重要不適合案件に対する全社共通の対応方針の決定と関連部門への展開 (12件中12件対応) |
| | お客さまの生産性・歩留まり向上 | <ul style="list-style-type: none"> フロントローディング、トレーサビリティの推進および実行 | <ul style="list-style-type: none"> フロントローディング 工数削減のための不適合対応の工程見直し 品質保証活動のあるべき姿を再検討 トレーサビリティ パーツの状態や工程を追跡するための仕組みづくりの検討 |
| 人と職場 | ダイバーシティ&インクルージョン | <ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率を2017年度1.8%から、2020年度までに倍増 | <ul style="list-style-type: none"> 2019年度は2.0% |
| | キャリア形成 | <ul style="list-style-type: none"> 1人当たりの受講講座数 前年度比10%増 | <ul style="list-style-type: none"> 1人当たり8.3講座、前年度比11.7%減*1 (新型コロナウイルスの影響により集合研修を一部中止) |
| | ワーク・ライフ・バランス | <ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇取得率 70%以上 | <ul style="list-style-type: none"> 72.6% (2018年度67.2%) 達成 |
| | 健康と安全 | <ul style="list-style-type: none"> 健康年齢*2と実年齢の差を1.5ポイント減 (2020年度まで、2017年度比) 労働時間20万時間当たりの人身事故発生率 (TCIR) 0.5未満 | <ul style="list-style-type: none"> 2017年度比 0.03ポイント増 0.23を達成 |
| 経営基盤 | ガバナンス | <ul style="list-style-type: none"> 取締役会実効性評価の結果、認識された課題に対する改善 | <ul style="list-style-type: none"> TELのあるべき機関設計*3や取締役の構成*4、および役員報酬制度の一部見直しを取締役会や内部委員会で検討・確認 取締役会の意思決定プロセスを高めるべく、取締役会付議基準の改訂、および執行会議体の新設を検討済みであり、2020年度以降、実施予定 リスク管理体制強化プロジェクトを通じ、内部統制システムおよびグループ会社統制の見直しを実施 取締役会オフサイトミーティングを開催し、中長期の経営戦略、CSRやGRC*5の取り組み・課題について討議 |
| | コンプライアンス | <ul style="list-style-type: none"> 海外グループ会社における内部通報窓口の再整備・取引先等通報窓口の設置 (継続) 内部通報窓口の従業員における認知度90%以上 倫理基準改訂および年次基礎研修、誓約の実施率90%以上 | <ul style="list-style-type: none"> 海外グループ会社における内部通報窓口の再整備・取引先等通報窓口の設置完了 内部通報窓口の従業員における認知度の調査未実施、2020年度に繰り越し 倫理基準改訂および年次基礎研修、誓約未実施、2020年度に繰り越し |
| | 環境マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 各事業所におけるエネルギー使用量 (原単位*6) 前年度比1%削減 各事業所で設定した原単位*7による水使用量 2011年度水準を維持 | <ul style="list-style-type: none"> 11事業所中、6事業所で目標達成 13目標中、9目標で目標達成 |
| | サプライチェーンマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンCSRアセスメントを実施したサプライヤー率 調達額の80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> 調達額80%以上を達成 |
| | ガバナンス | <ul style="list-style-type: none"> 取締役会実効性評価の結果、認識された課題に対する改善 | <ul style="list-style-type: none"> TELのあるべき機関設計*3や取締役の構成*4、および役員報酬制度の一部見直しを取締役会や内部委員会で検討・確認 取締役会の意思決定プロセスを高めるべく、取締役会付議基準の改訂、および執行会議体の新設を検討済みであり、2020年度以降、実施予定 リスク管理体制強化プロジェクトを通じ、内部統制システムおよびグループ会社統制の見直しを実施 取締役会オフサイトミーティングを開催し、中長期の経営戦略、CSRやGRC*5の取り組み・課題について討議 |

*1 非正規社員の算入による指標の変更により、2018年度実績は1人当たり11.6講座から9.4講座に変更 *2 健診結果に基づいて生活習慣病リスクを年齢で表現した指標
 *3 TELでは監査役会設置会社の方式を採用 *4 社外取締役1/3以上 *5 GRC (ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンス)
 *6 原単位: 各地区ごとに開発評価機台数、生産台数、床面積、工数の複合重みづけにて算出 *7 原単位: 各地区で床面積、人数などをもとに算出 *8 CRM: Customer Relationship Management
 *9 PLM: Product Lifecycle Management *10 ERP: Enterprise Resource Planning *11 Shift Left: P.17とP.31参照 *12 2018年度2.0%は高度専門職を含む
 *13 BCP(Business Continuity Plan): 事業継続計画

2020年度

| マテリアリティ | 重点テーマ | 年度目標 | 中期目標 | SDGsへの取り組み |
|---------|------------------|--|------------------------|--------------|
| 製品競争力 | 技術革新への挑戦 | <ul style="list-style-type: none"> 全機種における次世代向け新製品数の割合 (3カ年累計) 20%以上 グローバル特許出願率 前年水準を維持 (±10ポイント) | 強いネクストジェネレーションプロダクトの創出 | |
| | 製品の環境貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ウェーハ当たりのCO₂排出量20%削減 (2024年度まで、2013年度比) | | |
| 顧客対応力 | 顧客価値創造 | <ul style="list-style-type: none"> お客さまにおけるTELの価値向上 FS事業の売上高、前年度比5%以上増加 | 唯一無二の戦略的パートナーになる | |
| | 顧客満足度の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度調査において「大変満足」または「満足」回答を選択した割合 100% | | |
| 生産性向上 | 業務効率化 | <ul style="list-style-type: none"> 中長期目標である業務効率の10%向上を目指し、統合基幹システム導入によりデータの一元管理を実現し、従業員にとってより付加価値の高い業務を創出する基盤を構築 ① 2020年度はCRM*8とPLM*9の展開推進 ② ERP*10の導入を準備 | 経営効率向上の継続的な追求 | |
| | 品質マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 重要不適合案件の他装置への波及性確認および再発防止策徹底 | | |
| | お客さまの生産性・歩留まり向上 | <ul style="list-style-type: none"> 品質におけるShift Left*11 (フロントローディング) 活動の推進 ① 上流工程における技術者の付加価値業務の工数拡大 ② 品質保証活動のさらなる強化を目的とした中長期活動計画の実行 | | |
| 人と職場 | ダイバーシティ&インクルージョン | <ul style="list-style-type: none"> 女性の管理職および高度専門職 (管理職と同等レベルの職責を担う者) を2021年度には2018年度2.0%*12から倍増する | 夢と活力の最大化 | |
| | キャリア形成 | <ul style="list-style-type: none"> 職場の学ぶ文化・育成する風土の醸成 ① リーダー育成 ② パーソナライズされたグローバルな学習機会の提供 ③ 会社人生を通じたキャリア開発のサポート | | |
| | ワーク・ライフ・バランス | <ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇取得率 70%以上 | | |
| | 健康と安全 | <ul style="list-style-type: none"> 健康年齢と実年齢の差を1.5ポイント改善 (2020年度まで、2017年度比) 労働時間20万時間当たりの人身事故発生率 (TCIR) 0.5未満 | | |
| 経営基盤 | ガバナンス | <ul style="list-style-type: none"> 取締役会実効性評価の結果、認識される課題に対する継続的な改善 | 価値向上に向けた経営基盤の構築 | |
| | リスクマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> グループ全体を通じた統合的リスクマネジメント態勢の推進 ① CSA (Control Self Assessment) 導入 ② リスクマネジメント委員会の設置・運営 | | |
| | コンプライアンス | <ul style="list-style-type: none"> 内部通報窓口の従業員における認知度100% 倫理基準改訂および年次基礎研修・誓約の実施率100% コンプライアンス意識調査の実施 | | |
| | 環境マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 各事業所におけるエネルギー使用量 (原単位) 前年度比1%削減 各事業所における水使用量 (原単位) の国内は2011年度、海外は個別の基準年度水準を維持 | | |
| | サプライチェーンマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンCSRアセスメントを実施したサプライヤーの比率 調達額の80%以上 資材系: 調達額の80%以上 物流系: 通関関連業者100% 人材系: 派遣会社および請負会社 (構内請負) 100% サプライチェーンBCP*13アセスメントを実施したサプライヤーの比率 調達額の80%以上 | | |